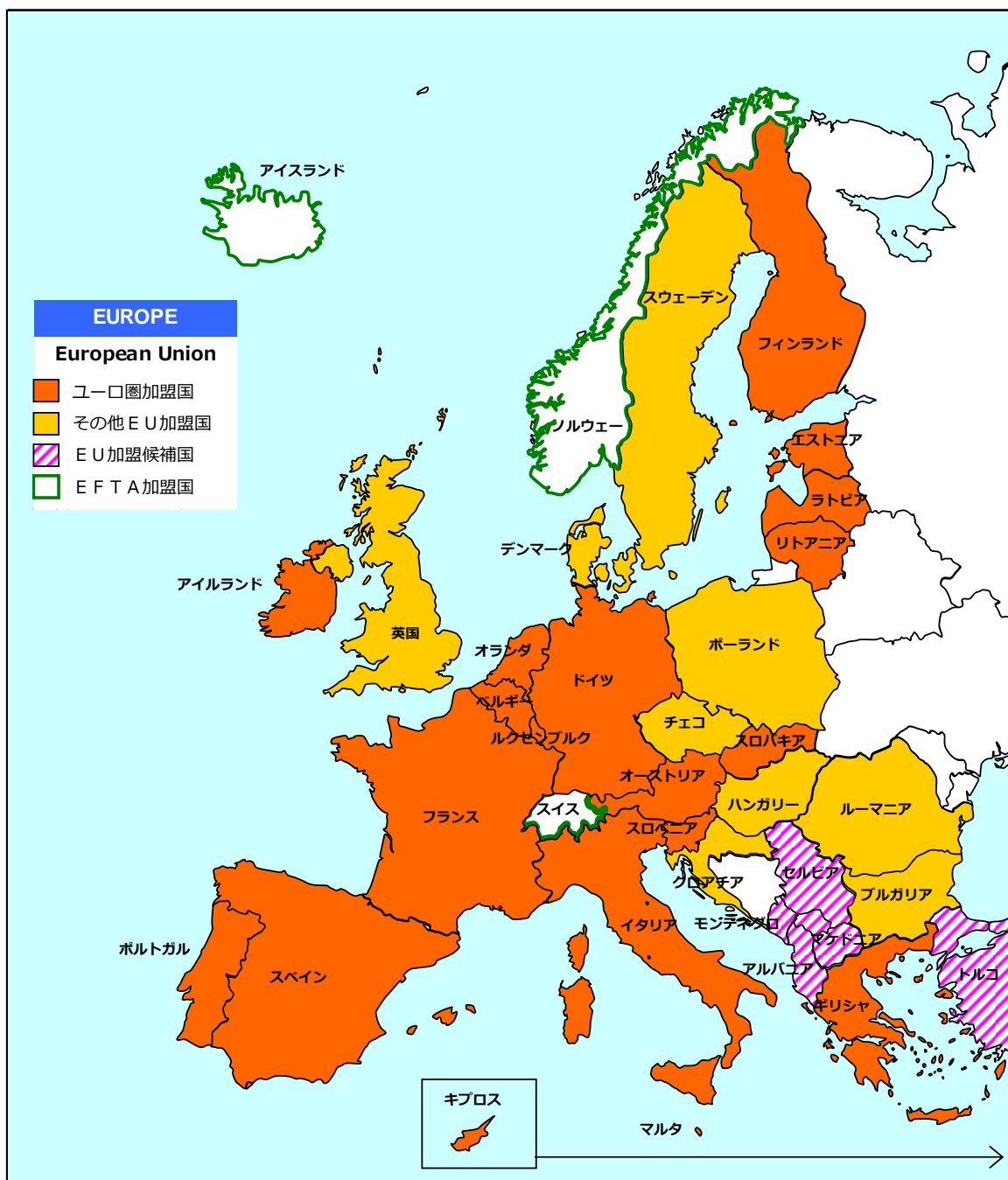


欧州経済アップデート (2016.1)

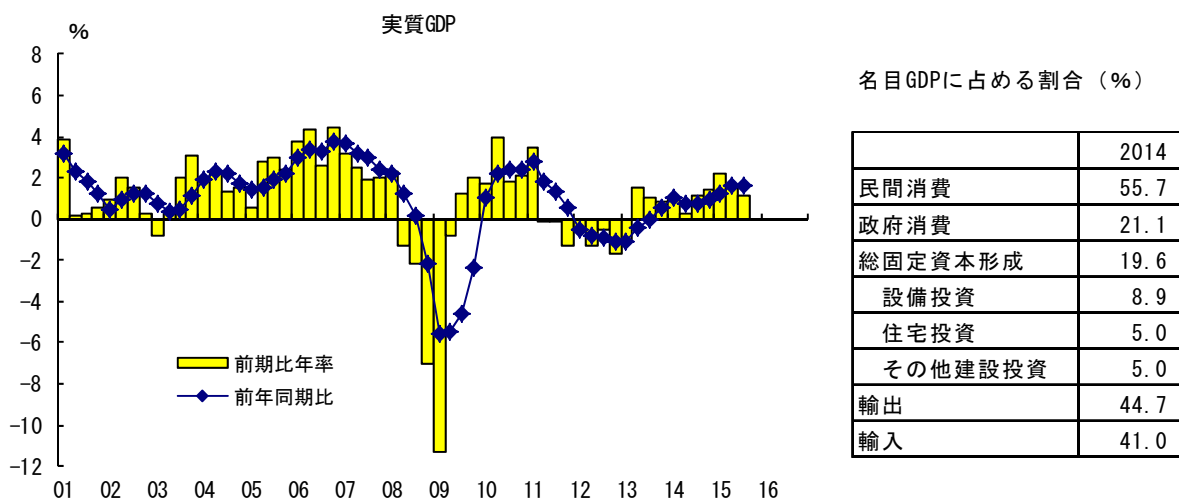
経済調査部
研究員 新居 真紀



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

ユーロ圏 GDP

- 15年Q1をピークとして成長率は緩やかに鈍化しているが、個人消費がけん引役となって成長率の堅調な伸びを維持している
- なお、内需項目のうち固定資本形成を見ると、15年Q2、Q3は建設投資が足をひっぱっており、成長率に対してマイナスに寄与している
- 15年Q4の成長率（速報値）は、2月12日に発表予定



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	-0.2	0.4	0.2	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.5	0.4	0.3
個人消費	-0.3	0.2	0.3	0.1	0.0	0.2	0.4	0.5	0.5	0.3	0.4
政府消費	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.5	0.3	0.6
総固定資本形成	-1.9	0.8	0.9	0.4	0.4	-0.5	0.4	0.6	1.5	0.1	0.0
設備投資	-1.4	0.9	1.2	1.5	0.3	0.4	0.8	1.0	1.7	1.0	0.2
住宅投資	-2.3	0.6	0.4	-0.9	0.7	-1.6	0.1	0.3	1.3	-0.2	-0.1
その他建設投資	-2.6	0.7	0.8	-0.4	0.3	-1.1	-0.3	0.2	1.4	-1.6	-0.3
輸出	0.3	1.2	0.5	1.1	0.8	1.0	1.6	1.2	1.3	1.6	0.2
輸入	0.1	1.1	1.3	0.5	1.2	1.1	1.5	1.2	1.9	0.9	0.9

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

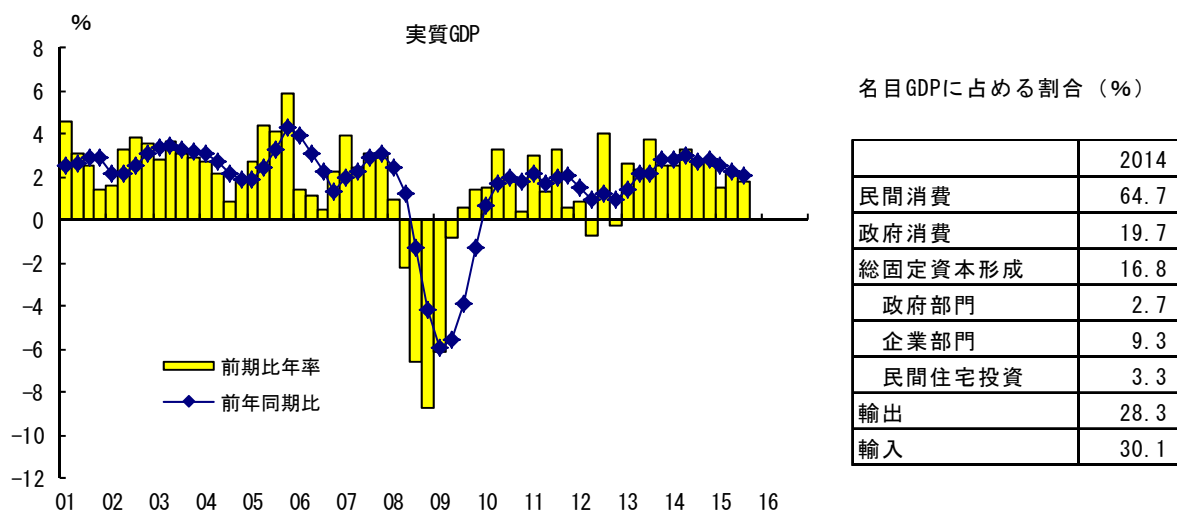
	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	-0.24	0.39	0.25	0.20	0.23	0.06	0.29	0.37	0.54	0.39	0.29
個人消費	-0.14	0.09	0.15	0.08	0.02	0.10	0.23	0.29	0.25	0.17	0.23
政府消費	0.01	0.02	0.04	0.04	0.05	0.05	0.07	0.05	0.11	0.06	0.12
総固定資本形成	-0.39	0.15	0.18	0.08	0.08	-0.10	0.08	0.12	0.30	0.02	0.00
設備投資	-0.13	0.09	0.12	0.15	0.03	0.03	0.08	0.10	0.17	0.10	0.02
住宅投資	-0.12	0.03	0.02	-0.05	0.04	-0.08	0.01	0.01	0.07	-0.01	0.00
その他建設投資	-0.13	0.03	0.04	-0.02	0.02	-0.06	-0.01	0.01	0.07	-0.08	-0.01
在庫変動	0.19	0.00	0.22	-0.27	0.22	0.03	-0.20	-0.14	0.06	-0.23	0.22
輸出	0.13	0.53	0.21	0.49	0.34	0.45	0.72	0.54	0.60	0.73	0.10
輸入	-0.04	-0.41	-0.52	-0.21	-0.47	-0.45	-0.60	-0.48	-0.77	-0.36	-0.38
純輸出	0.08	0.12	-0.32	0.27	-0.13	0.00	0.12	0.05	-0.17	0.37	-0.29

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

* このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

英国 GDP

- 15年Q4の成長率（速報値）は1月28日に発表予定
- 国立経済社会研究所（NIESR）は1月12日、純輸出の弱含みや建設業の悪化、政府支出の減少が影響し、15年Q4の成長率は前期比+0.6%との予測を発表
- 英中銀は1月13日の金融政策決定会合で、15年Q4の成長率について前期比+0.5%と予想



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	0.7	0.6	0.9	0.6	0.6	0.8	0.7	0.7	0.4	0.5	0.4
個人消費	0.5	0.1	0.9	0.7	0.5	0.8	0.5	0.5	0.7	0.9	0.8
政府消費	-0.7	0.8	0.6	0.2	1.1	0.8	0.3	-0.3	0.5	1.0	0.6
総固定資本形成	-0.5	1.9	3.0	2.1	0.6	2.6	1.8	0.1	0.9	1.6	0.7
政府部門	0.3	-4.9	6.8	-1.0	9.4	-11.4	7.8	2.3	1.4	-1.1	-0.9
企業部門	0.5	1.8	1.8	2.6	-3.4	6.6	0.0	-0.1	2.6	0.9	2.2
民間住宅投資	0.1	7.9	1.6	1.0	4.7	1.8	3.7	-0.5	-2.0	4.4	-2.4
輸出	1.9	3.3	-0.8	-2.9	0.9	1.2	0.4	3.8	0.0	2.8	-0.3
輸入	-0.7	3.3	0.1	1.8	-1.1	-0.5	2.0	2.8	3.0	-2.2	2.7

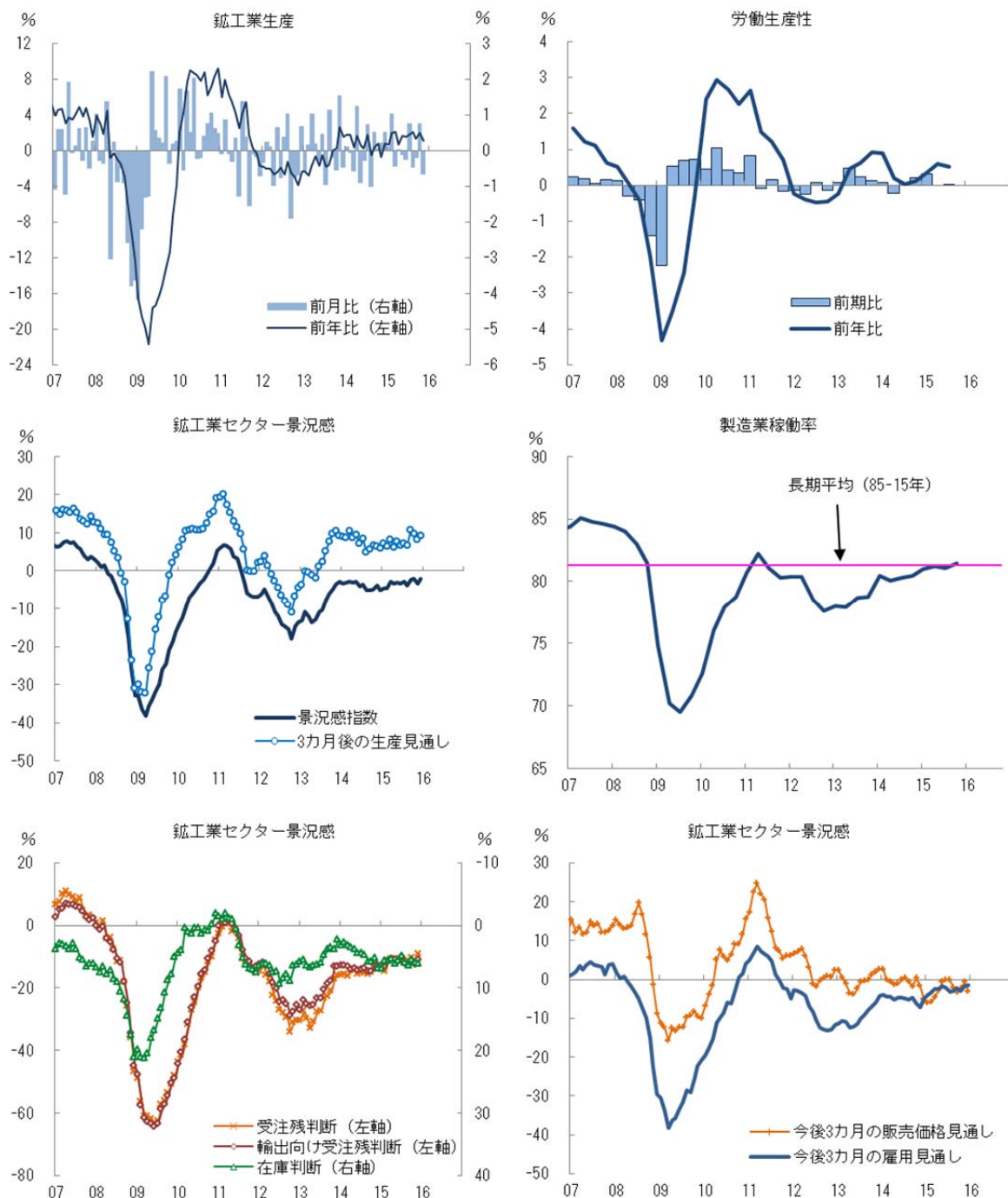
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	13Q1	13Q2	13Q3	13Q4	14Q1	14Q2	14Q3	14Q4	15Q1	15Q2	15Q3
実質GDP	0.66	0.59	0.92	0.64	0.64	0.80	0.66	0.67	0.37	0.54	0.45
個人消費	0.30	0.05	0.55	0.46	0.34	0.50	0.33	0.34	0.45	0.58	0.50
政府消費	-0.14	0.17	0.12	0.05	0.23	0.16	0.05	-0.07	0.11	0.20	0.12
総固定資本形成	-0.08	0.30	0.49	0.35	0.10	0.44	0.31	0.02	0.15	0.27	0.13
政府部門	0.01	-0.13	0.17	-0.03	0.24	-0.32	0.19	0.06	0.04	-0.03	-0.03
企業部門	0.04	0.16	0.17	0.25	-0.32	0.60	0.00	-0.01	0.25	0.09	0.22
民間住宅投資	0.00	0.24	0.05	0.03	0.15	0.06	0.12	-0.02	-0.07	0.15	-0.08
在庫変動	-1.03	0.15	0.05	1.22	-0.70	-0.81	0.51	0.22	0.65	-2.13	0.65
輸出	0.56	0.97	-0.24	-0.86	0.27	0.35	0.12	1.09	0.00	0.84	-0.10
輸入	0.22	-1.05	-0.04	-0.57	0.37	0.16	-0.64	-0.91	-0.98	0.76	-0.89
純輸出	0.79	-0.08	-0.28	-1.43	0.64	0.51	-0.52	0.18	-0.98	1.59	-0.99

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

ユーロ圏 生産

- 11月の鉱工業生産は前月比-0.7%と14年8月以来の落ち込み幅となり、前年比は+1.1%と前月から減速した
- 12月の鉱工業セクター景況感は前月からやや持ち直した。構成項目の中では、生産見通し及び、受注残判断が持ち直し、在庫判断は小幅に悪化した
- 12月の販売価格見通しは悪化、雇用見通しはほぼ横ばいで推移

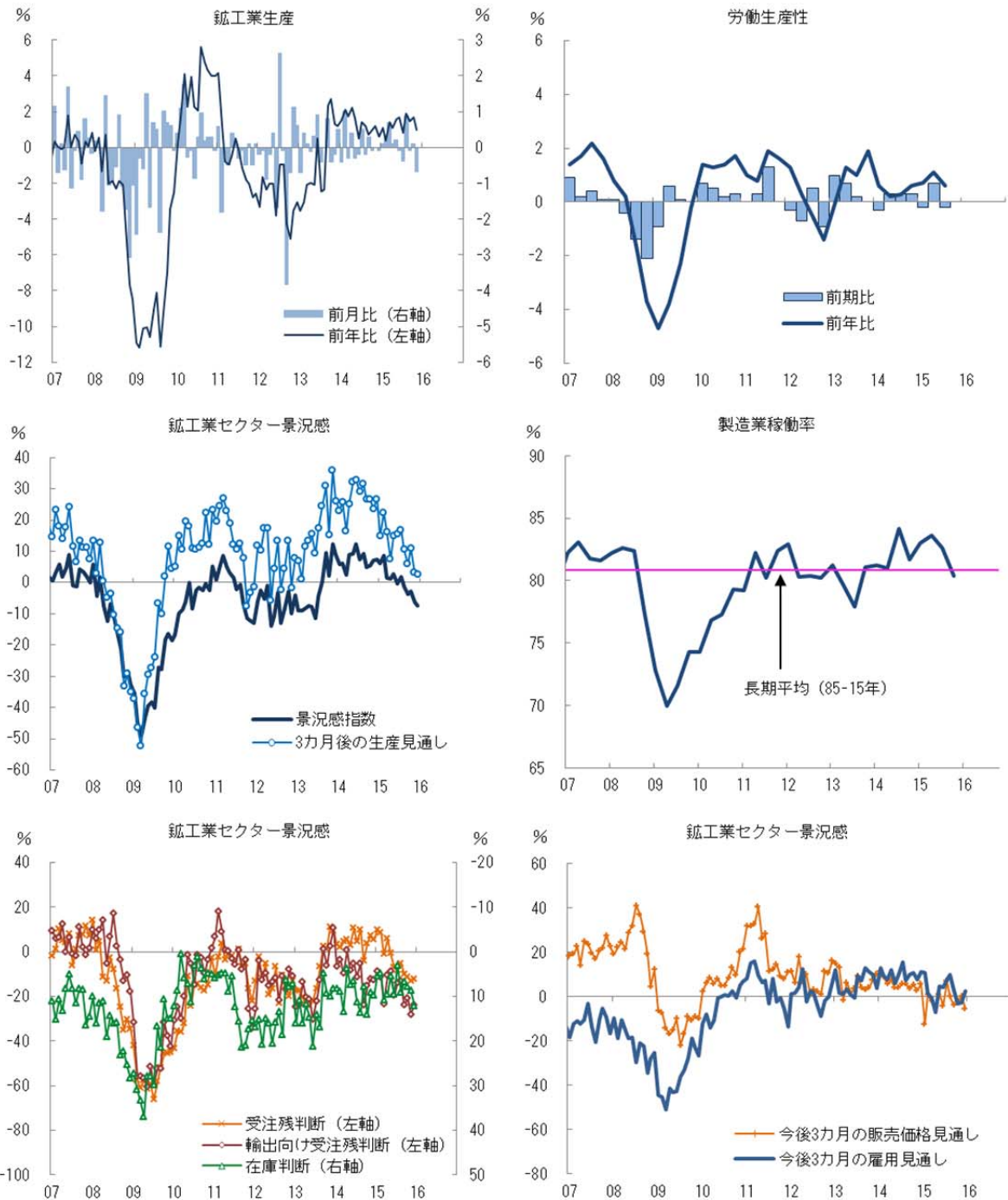


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

英国 生産

- 11月の鉱工業生産は前月比 -0.7% と13年1月以来の落ち込み幅となり、前年比の伸びは $+1.0\%$ と前月から減速した
- 12月の鉱工業セクター景況感は一段と落ち込んだ。構成項目の中で受注残判断がやや持ち直したが、在庫判断及び生産見通しは悪化した
- 12月の雇用見通しは改善したが、販売価格見通しは15年1月以来の落ち込みとなった

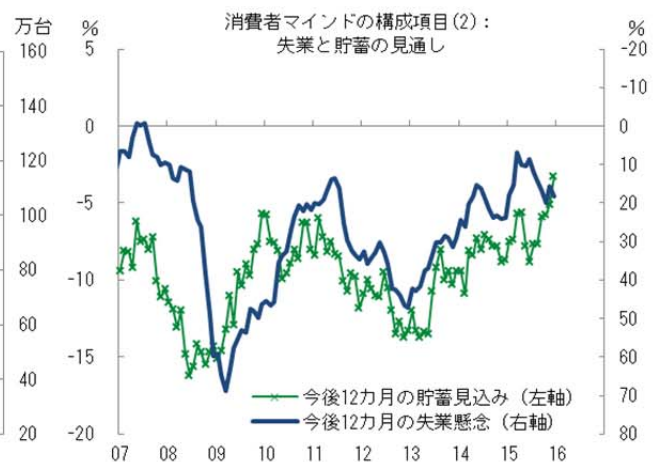


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会データより大和総研作成

ユーロ圏 消費

- 1月の消費者マインド(速報値)はやや悪化したものの、85年以降の長期平均を上回る水準を維持している
- 11月の小売売上高は前年比+1.4%と14年11月の水準にまで減速した
- 12月の新車登録台数は前年比+17.4%と一段と伸びが加速し、09年11月以来の高水準。15年通年で見ると前年比+9.6%となった

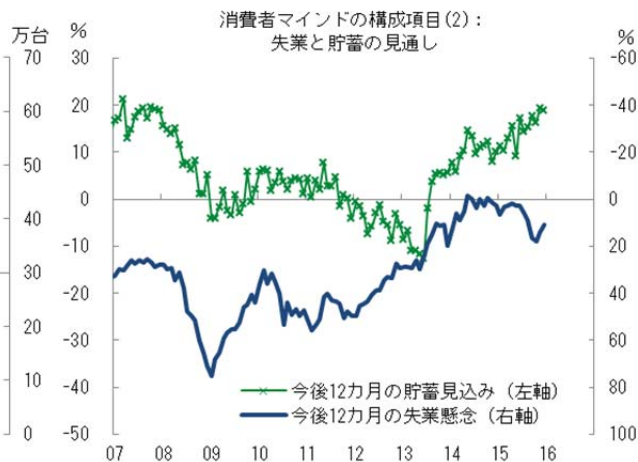


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

英国 消費

- 12月の消費者マインドは2カ月連続で改善している
- 12月の小売売上高は前年比+2.6%と前月から急減速し、14年9月以来の低い伸びとなった
- 12月の新車登録台数は前年比+8.4%に一段と加速。15年通年で見ると、前年比+6.3%となった

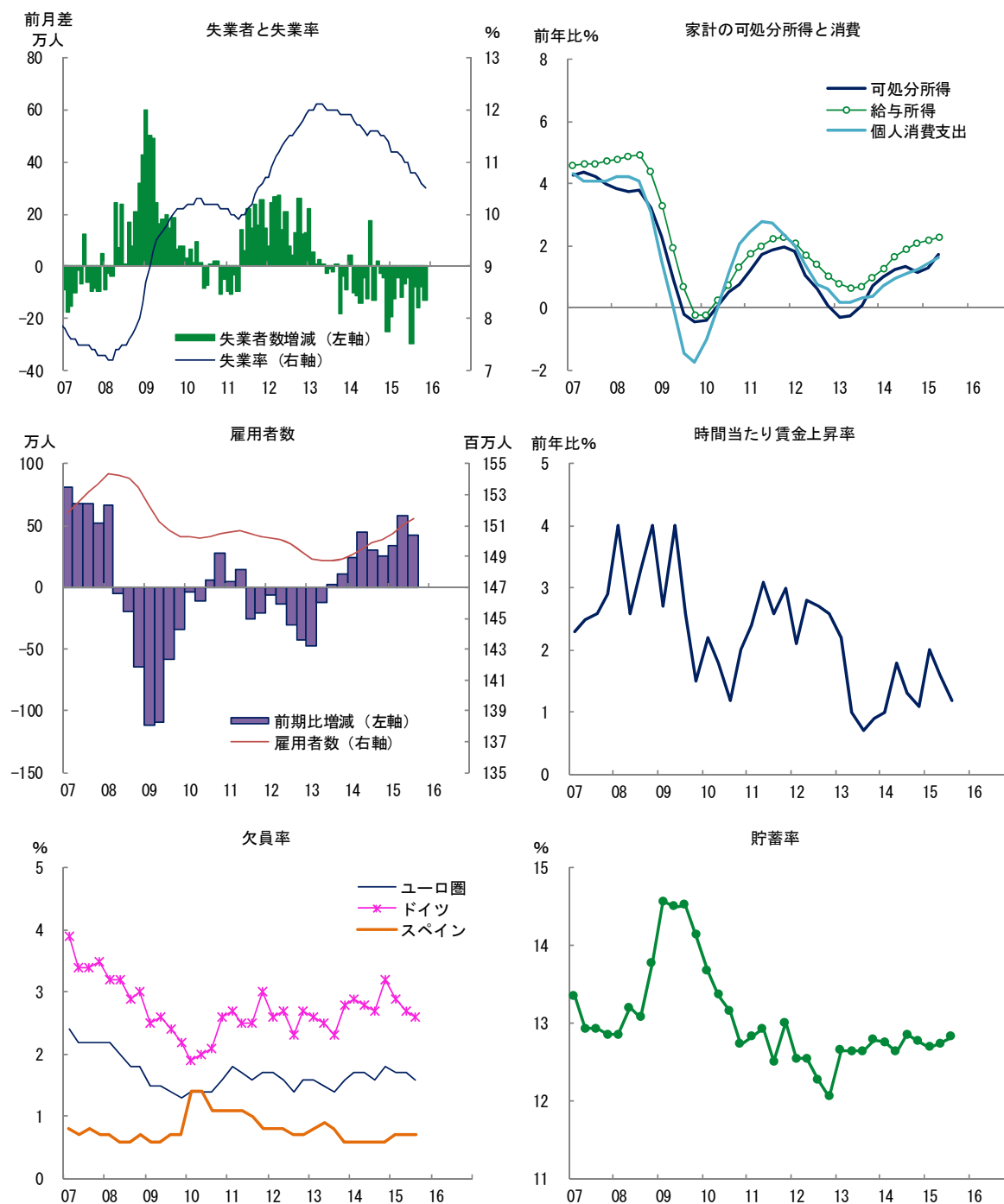


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

ユーロ圏 雇用・所得

- 11月の失業者数は前月から13万人減少し、失業率は10.5%と11年10月以来の低水準となった
- 15年3Qの雇用者数は前の期から42.8万人増え、9四半期連続で増加している
- 15年3Qの貯蓄率は12.8%となった。13年以降はほぼ横ばいで推移している

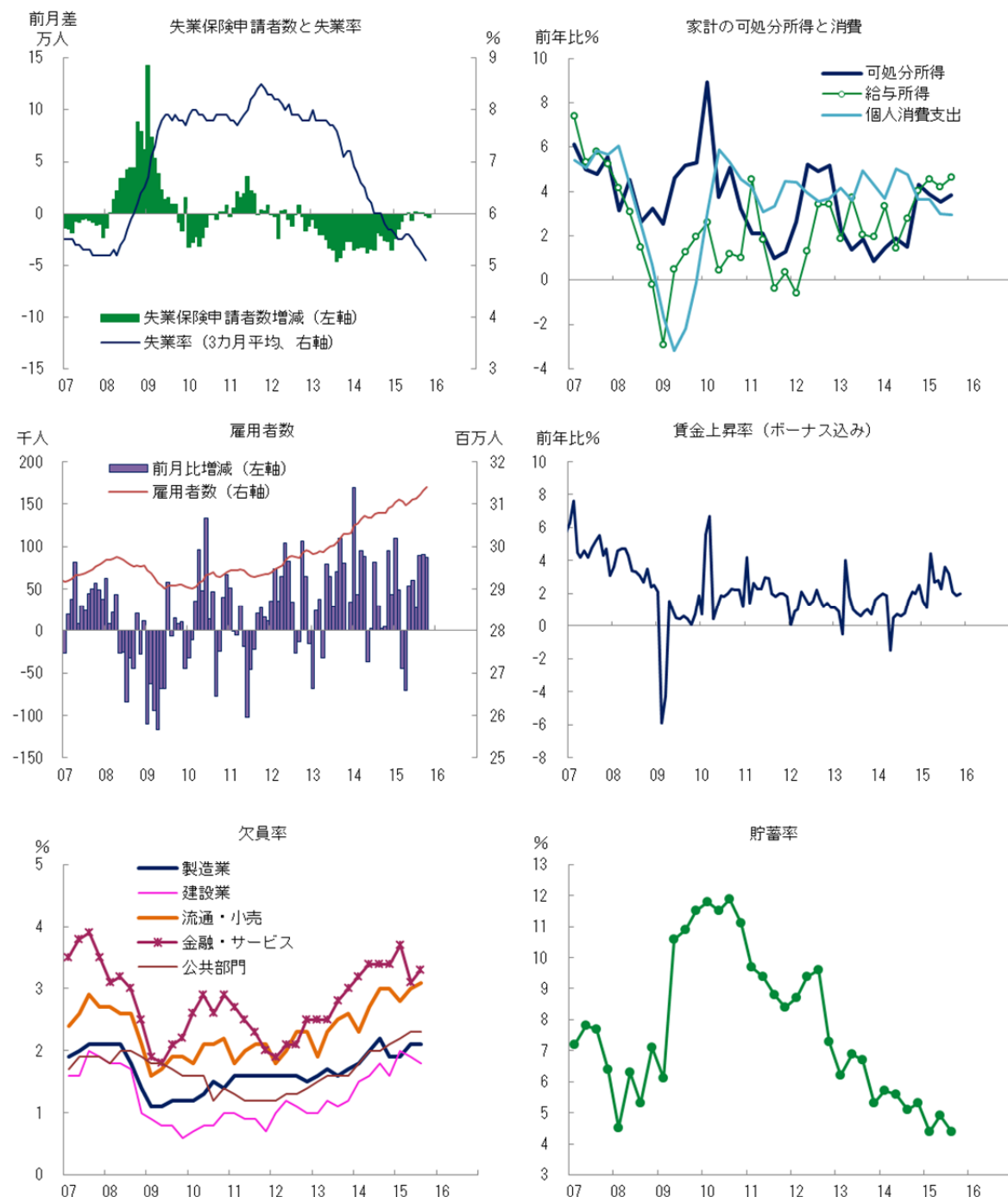


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = $\text{Number of job vacancies} / (\text{Number of occupied posts} + \text{Number of job vacancies}) \times 100$

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

英国 雇用・所得

- 失業率は直近5カ月連続で低下し、9-11月の平均は5.1%となった。これは05年末以来の低さとなる。また、12月の失業保険申請者数は前月に比べて4,300人減り、08年3月以来最も少なくなった
- 11月の賃金上昇率（ボーナス込み）は前年比+2.0%と前月からわずかに加速
- 14年Q4以降の可処分所得の伸び率は、給与所得にけん引されて高水準で推移している

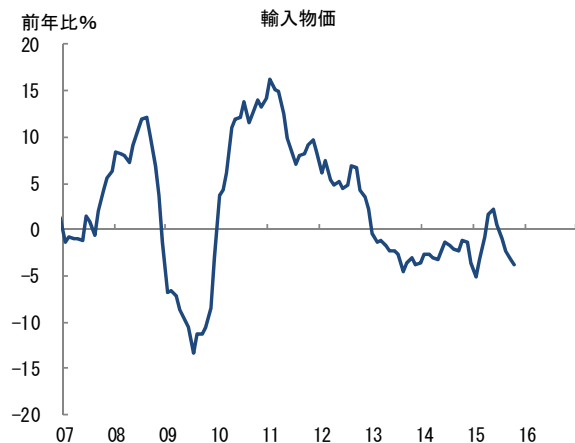
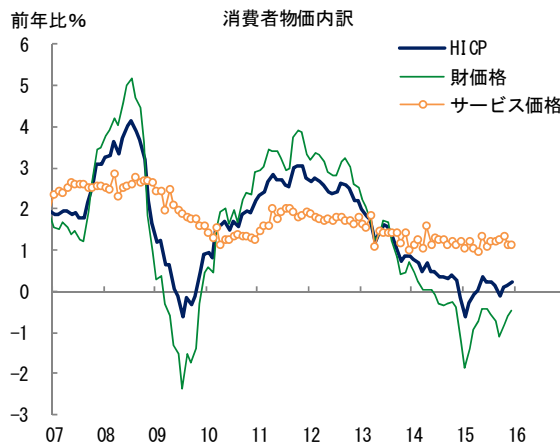
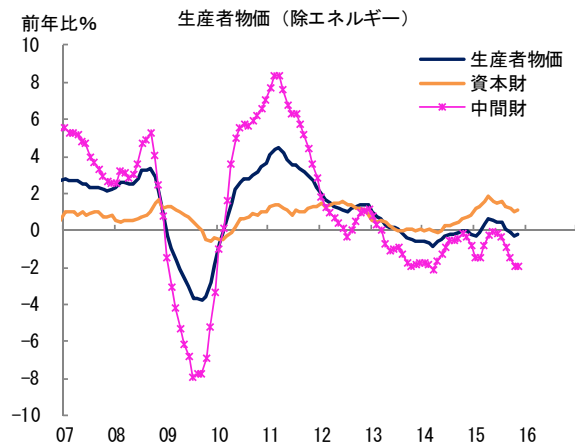


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) * 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 物価

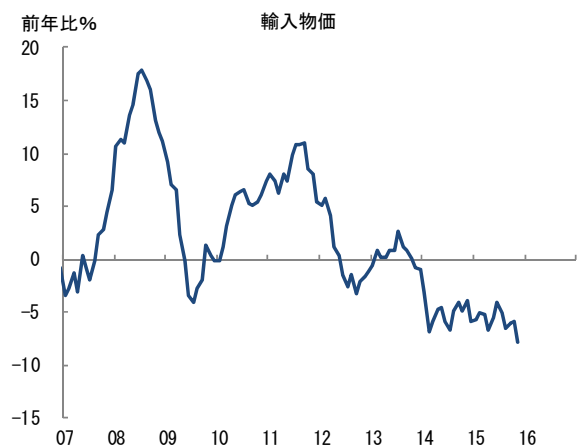
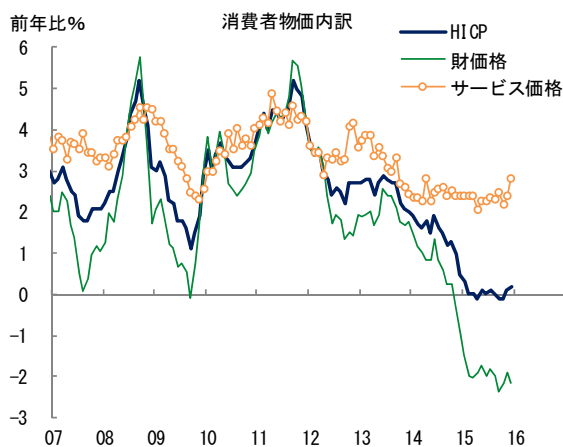
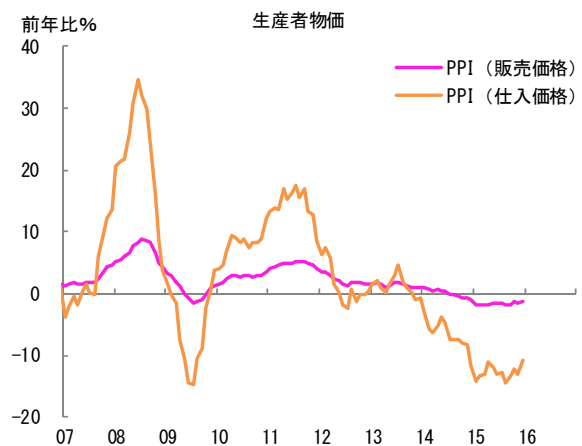
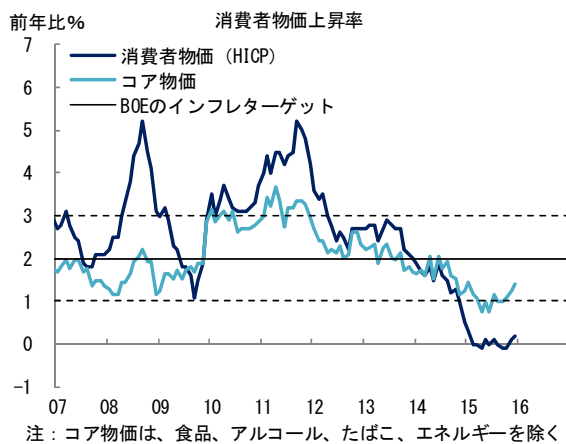
- 12月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+0.2%と3か月連続で小幅に加速しているが、依然として低水準にある
- 12月のエネルギー価格の下落幅は一段と縮小した。コア物価上昇率は前年比+0.9%と前月から横ばいとなった
- 12月の原油価格（北海ブレント）は1バレルあたり38.0ドルと04年6月以来の安値となったことから、輸入物価の押し下げ圧力は高まっているとみられる



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

英国 物価

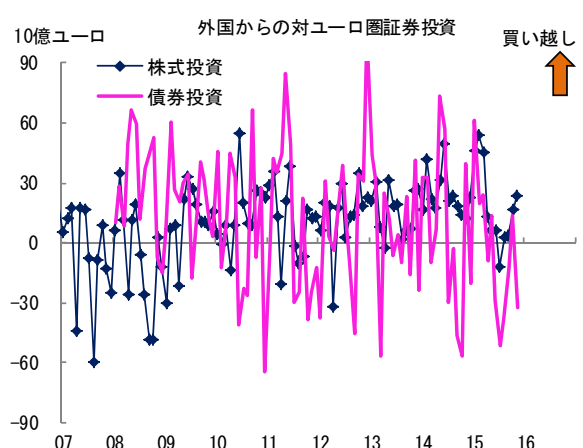
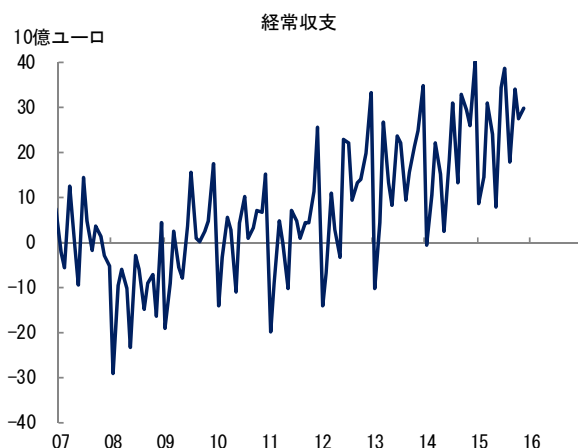
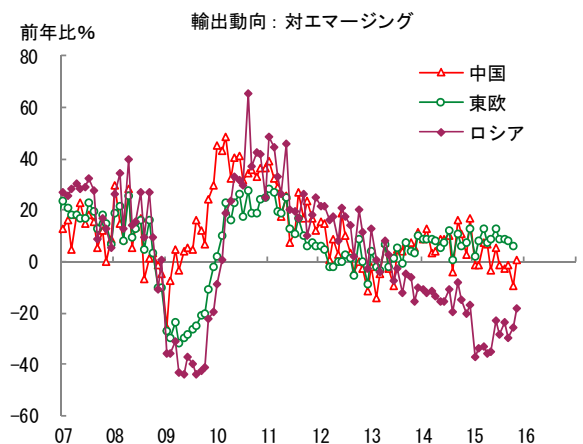
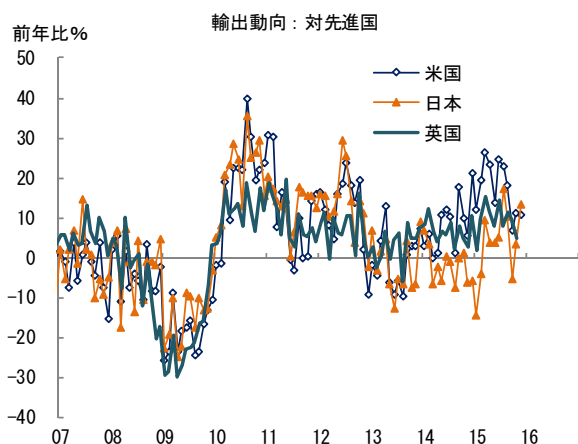
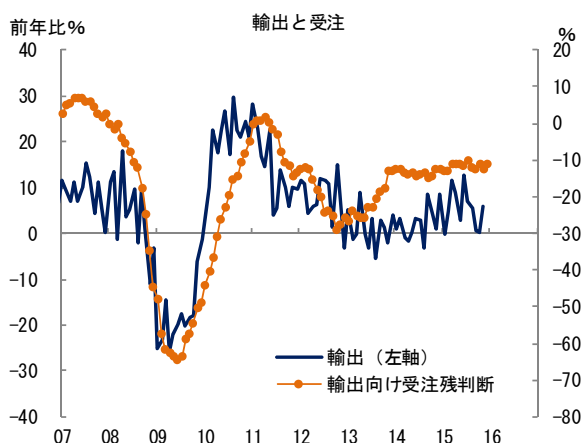
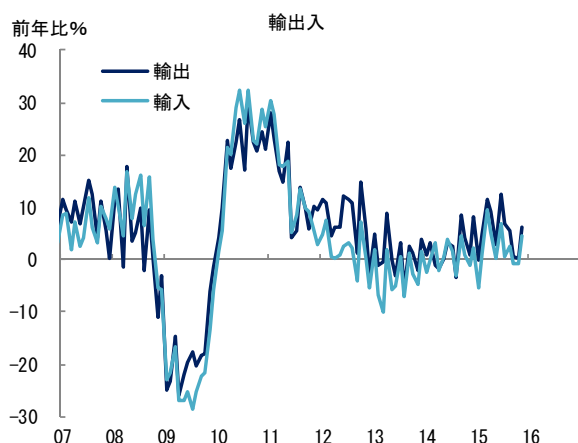
- 12月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比0.2%となり、2カ月連続で小幅加速。コア物価上昇率は同+1.4%と15年1月以来の高水準となった
- 14年後半以降は財価格が大きく下落した一方で、サービス価格を見ると横ばいから直近3カ月は加速して推移しており、両者の乖離が著しく進んでいる
- 財価格の下落には、エネルギー価格や食品、アルコール価格の下落が反映しているとみられる



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

ユーロ圏 国際収支

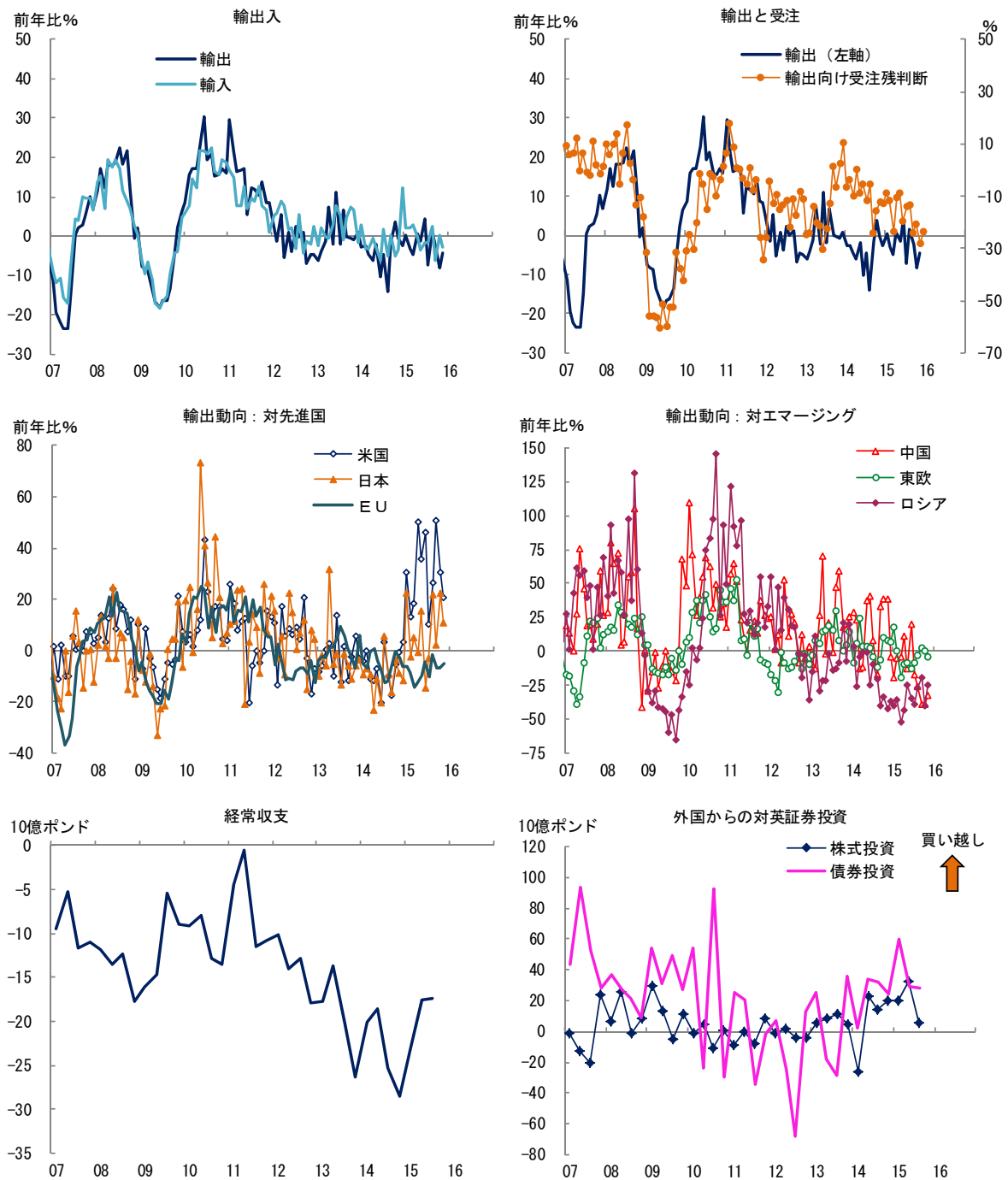
- 11月の輸出の伸びは前年比+6.1%と大きく拡大、輸入は同+4.5%と3カ月ぶりにプラスの伸びとなった
- 国別に輸出の伸びをみると、米国向けは前月に続いて前年比2桁増と堅調な伸び。中国向けが5カ月ぶりにプラスに転じた
- 外国人投資家によるユーロ圏への証券投資は、株式投資の買い越し額が3カ月連続で拡大した一方、債券投資は大幅な売り越しに転じた



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

英国 国際収支

- 11月の輸出は前年比-4.4%と3カ月連続で減少。EU、中国、東欧、ロシア向けはいずれもマイナスの伸びとなっており、米国及び日本向けも増加幅が縮小
- 11月の輸入は前年比-2.7%と2カ月ぶりに前年割れとなった
- 12月の輸出向け受注残判断は前月から持ち直したものの、ここ半年は悪化傾向にある



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成